

社会科 学習指導案

【単元】火さいから守る「(3)ア(ア), (3)イ(ア)」

考察	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
育成を目指す資質能力	<ul style="list-style-type: none"> 消防署や消防団は、地域の安全を守るために、相互に連携して火災の防止に努めていることへの理解と、見学・調査したことを関係図にまとめる技能 	<ul style="list-style-type: none"> 火災から地域の安全を守る役割について、消防署や消防団、地域の人々が行っている活動と地域の人々の生活とを関連付けて考え、調べたことを表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> 火災から地域の安全を守る役割について、その仕組みや役割を主体的に調べ、問題を解決したり、社会生活に生かそうとしたりする態度と、地域社会の一員としての自覚
児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> 資料からスーパーで行われている売り方の工夫や仕入れの工夫を読み取ったり、文章や図にまとめたりすることができます。 火災から地域を守るために、消防署や消防団が地域の人々と協力して火災への対応や防止に努めていることへの理解は乏しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの生活とスーパーで行われている工夫を関連付けて、スーパーは消費者のニーズを叶えるために世界中から多種多様な商品を仕入れたり、新鮮な状態を保ちながら商品を販売したりしているなど、自らの生活と社会の関わりを考えることができますようになってきた。 火災から地域を守るために、自らできる取組について考える経験は乏しい。 	<ul style="list-style-type: none"> スーパーで行われている工夫について疑問や調べたいことをもち、問題を主体的に追究してきた。 火災から地域を守る役割と自らの生活とのつながりを実感していない。
価値	<ul style="list-style-type: none"> 近年、前橋市の火災による事故の件数が平成27年の144件をピークに令和2年の82件まで減少してきている。これは、前橋市が火災予防対策を広報やホームページで呼びかけたり、消防署や消防団が地域の防災パトロールや地域ごとの災害訓練に取り組んできたりした成果とも言える。火災が起こる原因を人々の生活と関連付けて考えることは、防災意識を高めるだけではなく、自らの命を自ら守ることにつながる。小学生の段階から防災について学ぶことは、自らの身の安全を守るだけではなく、地域社会の一員として地域の安全を守るために自らができる取組を考え、行動する素地を育むことにつながる。 火災から地域を守るために、消防署や消防団、地域の人々が連携・協力しているという概念的知識を得ることができる。 火災から地域を守る役割について、見学・調査したことを関係図に表すことで、見学・調査したことをまとめる技能を身に付けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 火災から地域を守る役割について、観察・調査したことを消防署や消防団の役割を比較することで、消防署や消防団と地域の人々の生活との関わりについて考えることができる。 自らの生活と消防署や消防団、地域の人々を関連付け、相互に連携・協力をして火災の防止に努めていることを考えることで、火災から身を守るために自らができる取組を見いだすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容が実生活につながっているため、自らの生活と関連付けて意欲的に学習に取り組むことができる。 身近な地域の防災対策を知ることで、自らと地域社会とのつながりを実感することができる。
貢・考訪	火災から地域を守る役割について、消防署や消防団、地域の人々の相互の連携・協力に着目し、それらの取組と自らの生活との関連を考えること。		
今後の学習	3年「事こや事けんをふせぐ」で、警察署や交番などの関係機関の役割と、そこに従事する人々の工夫や努力を考える学習へと発展していく。		

指導と評価の計画

目標	火災から地域の安全を守る役割について、消防署を見学したり資料で調べたりして、消防署や消防団、地域の人々の取組を捉え、その相互の関連や従事する人々の役割を考え表現することを通して、消防署や消防団、地域の人々は火災から地域の安全を守るために相互に連携・協力し合い、緊急時に対応する体制をとっていることを理解する。		
評価規準	<p>(①知・技) 消防署や消防団、地域の人々は火災から地域の安全を守るために相互に連携・協力し合い、緊急時に対応する体制をとっていることを理解する。 火災から地域の安全を守る役割について、現場学習で調査したり、資料を活用して必要な情報を集めたりして、調べたことをまとめている。</p> <p>(②思・判・表) 火災から地域の安全を守る役割について、学習問題を見いだしたり、連携・協力している消防署や消防団の役割を結び付けてそれら相互の関連を考えたり、消防署や消防団、地域の人々の取組と地域の人々の生活とを関連付けて考えたりして、関係図にまとめたことを表現している。</p> <p>(③主体的態度) 火災から地域の安全を守る役割に関心をもち、予想や学習計画を考え、主体的に調査したり、地域の一員として防火活動に協力しようとしたりしている。</p>		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
つかむ	1	<p>○火災に関する資料から学習問題をつかむ。</p> <p>学習問題 わたしたちを火災から守るために、だれが、どのようなことをしているのだろう。</p>	<p>○火災への対処について問題意識をもつてるように、附属小が火災にあった場合の消防車の到着時間や台数、必要な水量などの資料や火災が起きたときの諸機関の動きを表した資料を用意する。</p>
	1	<p>○学習問題について予想し、調べる計画を立てる。 <調べる観点> ・消防署の人々の取組 ・地域の取組や消防設備</p>	<p>○学習問題について予想することができるよう、学習計画表の枠と消防署内の場所ごとの写真や消防士の活動の様子を示した写真、地域に存在する消火栓や防火水槽などの消防設備に関する資料を用意する。</p>
追究する	2	<p>○前橋市消防局の施設や設備、消防士の取組を観察したり、聞き取り調査をしたりする。 (現場学習)</p>	<p>○消防署における取組を具体的に調べられるように、消防士の役割を消防署内の場所ごとに記録できる学習プリントを用意する。</p>
	1	<p>○消防署の人々の取組について調べたことを話し合って整理する。</p>	<p>○消防署の場所ごとの人々の取組を比較して共通点を見いだせるように、消防署の人々の取組と場所ごとに整理できる二次元表の学習シートを用意する。</p>
	1	<p>○消防設備や、前橋市の消防署や消防団の分布について話し合う。</p>	<p>○消防団や消防設備の必要性を消防署との位置関係を基に考えられるように、学校の周りの消防設備や、前橋市の消防署や消防団の分布図を用意する。</p>
まとめる・生かす	1	<p>○学習問題の答えを出す。</p>	<p>○火災から地域の安全を守る役割について消防署や地域の取組と地域の人々の生活とを関連付けて考えられるように、消防署や消防団、地域の人々との関係を整理することができる学習シートを用意する。</p>
	1	<p>○前橋市の火災による事故の現状を知り、新たな学習問題をつかむ。</p> <p>新たな学習問題 火災から身を守るためにわたしたちはどのようなことができるのだろう。</p>	<p>○火災から身を守る一人一人の行動について新たな問題意識をもつことができるよう、過年度の前橋市の火災による事故の発生件数や発生原因を示す資料を用意する。</p>
	家庭	<p>○家庭で取り組んでいる火災から身を守る取組について調べる。</p> <p>○火災から身を守るために、自らのできる取組を考え、学習問題の答えを出す。 (本時)</p>	<p>○家庭で取り組んでいる火災から身を守る取組を調べられるように、撮影した動画や写真と考えを関連付け、視覚化して表すことができる学習シートを用意する。</p> <p>○自他の考え方や根拠の相違点に気付けるように、考えが同じ他人や考えが違う他人で話し合う場を設ける。</p>
			評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」

本時の学習（9／9時間目）

ねらい 過年度の前橋市の火災の発生原因の資料から読み取ったことを、既習事項や生活経験と関連付けながら話し合うを通して、火災を予防するため自らのできる取組を考え、表現することができる。

評価項目 地域の一員として火災から身を守るために自らのできる取組を既習事項や生活経験を基に記述している。

<学習シート③>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>I 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災から身を守るために、お家で取り組んでいることをインタビューしてまとめてきたよ。友達がどのような取組を考えてきたか聞いて、自分の生活に合う取組を見付けて、一番良さそうなできる取組を決めたいな。（問題意識） 	<p>○火災から身を守るために自らできる取組を決めるという本時の学習の見通しをもてるよう、学習計画表や自らできる取組の考え方の基となった前橋市の主な火災発生原因の資料を掲示し、本時の授業で行うことを問いかける。</p>
<p>めあて：火災から身を守るために自分ができる取組を決めよう</p>	
<p>2 自らできる取組について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> Aさんは、ぼくと同じで前橋市の主な火災発生原因のストーブの火災発生が多いところを見て、ストーブによる火災を防ぎたいと考えているな。具体的にどのような取組をしたいのか質問してみよう。 なるほど、家では、ストーブをカーテンの近くに置かないようにしたり、ストーブの周りに服やタオルなどの燃えやすい物を置かないようにしたりしているのだな。これからの時期、寒くなるから、ストーブの使い方については気を付けていきたいな。 Bさんの考えを聞いたたら、ガスコンロの使い方についても考えないといけないと思ったよ。ガスコンロを使うときは、周りに燃えやすい物を置かないようにしたり、火から目を離さないようにしたりしているのだな。ガスコンロの使い方にも気を付けないといけないのだな。 Bさんは、火災が起きたときのことも考えて、消化器を用意したり、火災報知器を設置したりもしていたよ。火災が起きてしまった時のことを考えておくことも大切なのだな。 みんなが考えた取組を整理してみると、火災が起こらないようにする取組と火災が起きてしまってからの取組が大事なのだな。 ぼくの生活だと、お母さんが毎日ガスコンロを使って料理をしているから、ガスコンロの周りに燃えそうな物を置かないようにする取組をしていきたいな。（問題解決した意識） 	<p>○自他の考えた自らできる取組やその根拠となるインタビュー動画の共通点や相違点を見いだせるように、ロイロノートの共有機能を使い、自他の学習シートを共有し、比較するよう促す。</p> <p>○自らできる取組をロイロノートの共有機能で比較する際に、自他の考え方の共通点と相違点を視覚的に捉えられるように、学習シートの自らできる取組を教師が種類別に予め色分けしておく。</p> <p>○自らできる取組と似ている取組を考えた他者との自他の考え方や根拠の共通点から、自らできる取組の解釈を広げられるように、自らの考え方と似ている他者と話し合うよう促す。</p> <p>○自らできる取組の解釈を広げられるように、話合う際に、学習シートのメモ欄に参考になった考え方を記述するよう促す。</p> <p>○自らできる取組と違う取組を考えた他者と自他の考え方や根拠の相違点から、自らできる取組の解釈を広げられるように、自らと違う取組を考えた他者と話し合うよう促す。</p> <p>○火災から身を守るための取組への解釈を広げられるように、それぞれ違った取組を考えた児童を、意図的に指名し、発表するよう促す。</p> <p>○自らできる取組を火災が起こらないようにする取組と火災が起きてから対応する取組に分類できるように、児童が発表した自らできる取組の資料を火災が起る事前と事後の取組で掲示し、それぞれの共通点を問いかける。</p> <p>○自らできる取組を整理し、決定できるように、最終的な考え方を学習シートに記述するよう促す。</p> <p>○本時の学習成果を実感できるように「授業を通して気付いたこと」という視点を提示し、振り返りを記述するよう促す。</p>
<p>3 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災から身を守るために、火災が起こらないようにする取組と火災が起きてしまってからの取組のどちらも大切だということに気付くことができたよ。今日決めたことを実際にやっていきたいな。 	